

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束廃止への問題点として、遭難などの事故を防ぐためやむを得ず玄関の施錠を行っている。	日中の時間帯、9時から17時までの玄関の施錠を実施する。	ご家族への説明により開錠へご理解を得る。また、身体拘束廃止委員会による勉強会により施錠が身体拘束であることの周知とそれによる拘束しない介護への意識付け。警察や地元自治会との協力により無許可離設があった時の対応を協議する。	12 か月
2	49	感染症対策もあり屋外に出ていく機会が減ってしまった。	利用者個別の行きたい場所を半年に1回は訪問する。	利用者個別に話を聞き、思い出の地や地元の訪問したい場所をピックアップする。感染症対策を徹底し安全に訪問できる体制を整備する。	6 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。